

「本が読みにくい」と感じた時に、ためしてみよう！

「私は本を読むのが苦手だ」と思った時に、読む方法や本の種類を工夫すると、読みやすくなることがあります。色々ためしてみましよう。

① 漢字に読み方のついた本を読む

全ての漢字に読み方（ルビ）がついた本を総ルビの本と言います。インターネットの検索ボックスに「総ルビ 本」と入力すると色々な本がでてきます。

片瀬中の図書館にも総ルビの本があります。

- ★ 『54字の物語』シリーズ PHP研究所
- ★ 『講談社 青い鳥文庫』シリーズ 講談社
- ★ 『小学館ジュニア文庫』シリーズ 小学館
- ★ 『集英社みらい文庫』シリーズ 集英社
- ★ 『PHPジュニアノベル』シリーズ PHP研究所
- ★ 『角川つばさ文庫』シリーズ KADOKAWA
- ★ 『ディズニームービーブック』シリーズ 講談社
- ★ 『ディズニー映画小説版』シリーズ 偕成社

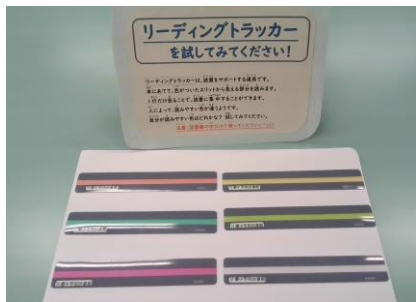
② 大きな文字の本を読む

大きな文字で書かれた本を大活字本と言います。大活字本は文字のサイズやフォントが工夫されているので、はっきりと文字を見ることができる本です。藤沢市の図書館のホームページで「かんたん検索」に「大活字本」と入力すると色々な本がでてきます。



③ リーディングトラッカー を使う

読む行にカラーラインをあてて、読む場所をはっきりとさせます。色々なカラーがあるので、自分が読みやすい色を選んで使いましょう。
片瀬中の図書館にもあります。必要な人は自由に使ってください。



④ デジタル図書 (電子書籍) を読む

デジタル図書には フィックス型 と リフロー型 があります。

フィックス型はレイアウトが固定しているため、読みやすいようにレイアウトを変えられません。

リフロー型は、文字の大きさ、色や背景色を変えたり、音声で聞くことができます。さらに、文字のフォントを変えたり、言葉の意味を調べるための辞書機能がついたデジタル図書ものもあります。デジタル図書は自分の読みやすいようにアレンジすることができる本です。

藤沢市の電子図書館では、詳細検索で「電子書籍 (リフロー)」を選ぶと良いでしょう。

コンテンツタイプ 電子書籍 (リフロー) 電子書籍 (フィックス) コンテンツタイプとは?

リッチコンテンツ 動画コンテンツ 音声コンテンツ

洋書コンテンツ

⑤ オーディオブック（録音図書）で読む

オーディオブックはナレーターが文章を読むのを聞いて物語を楽しむことができます。インターネットで「オーディオブック」と検索してみてください。色々な会社のオーディオブックがあります。

利用するにはお金を払う必要があるのですが、お家の人に相談をしてから利用しましょう。

⑥ 学習マンガを読む

マンガは、絵やふきだして内容が分かりやすく、漢字にルビがあるので読みやすい本が多いです。学習マンガで勉強をすることができます。

● 「これも学習マンガだ！」 公益財団法人 日本財団 後援

「新しい世界を発見できるマンガや学びにつながるマンガを選出・発表」しているサイトです。「文学」「生命と世界」「芸術」「社会」「職業」「歴史」「戦争」「生活」「科学・学習」「スポーツ」「多様性」の11のジャンルに分けてマンガを紹介しています。

<https://gakushumanga.jp/news/>



⑦ ニュースをネットで読む

ニュースを知りたい時は、インターネットで配信されている、わかりやすく作られたニュースのサイトを見ると良いでしょう。

●NHK

「NEWS WEB EASY やさしい日本語で書いたニュース」

音声やルビのつけはずし、難しい言葉には辞書機能がついています。

<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>



●スローコミュニケーション

「わかりやすいニュース」

音声やルビのつけはずしができます。

<https://slow-communication.jp/news/4942/>



① から⑦の他にも読みやすい本は色々あります。

たとえば、LLブック・マルチメディアDAISY図書 などです。

これらの本を借りることのできるインターネットの「サピエ」という図書館もあります。

LLブックは片瀬中の図書館にもあります。